



研修

「災害時の外国人支援を考える」

言葉の通じない外国で、災害に遭ったら…
あなたはどのようにしますか？

岐阜市の在住外国人は現在9千人を超え、海外からも多くの観光客が日本を訪れています。災害時に言葉や文化の違いで不安を抱える外国人をどのように支援していくのか、これからは地域の課題として考える必要があります。

本研修では、災害時に外国人が直面する課題や多言語支援センターの機能や役割について学びます。

◆日時 **2019年1月20日(日)**

13:00～16:30 (受付開始12:45)

◆場所 **みんなの森 ぎふメディアコスモス**

1階 おどるスタジオ (岐阜市司町40-5)

※公共交通機関のご利用にご協力ください。

◆対象 **どなたでも ※語学力は問いません。**

(自治会等関係者、外国人市民と一緒に働いている方など身近に外国人市民がいる方、災害時のボランティア活動に関心のある方、留学生、永住者等の日本語が話せる外国人市民の方 など)

◆参加費 **無料**

◆研修内容 **裏面をご覧ください。**

◆定員 **20名** (応募者多数の場合、抽選とさせていただきます)

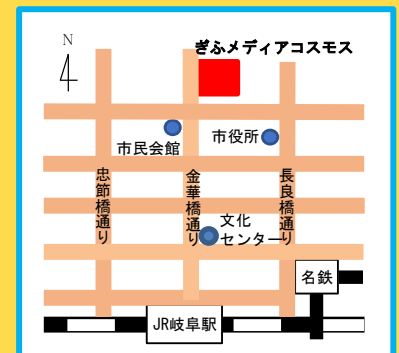
◆講師 **NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏**

◆申込方法 ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤メールアドレス

⑥日本語以外の外国語が話せる場合はその言語 ⑦外国人の方の場合は国籍 をご記入の上、メール又は往復はがきにて、**1月8日(火)まで**にお申し込みください。

◆申込先 (公財)岐阜市国際交流協会 〒500-8076 岐阜市司町40-5

TEL/FAX: 058(263)1741 E-mail: gk3700cc@ccn.aitai.ne.jp



◆研修内容◆

<スケジュール> ※進行は日本語で行います。

13:00～14:00 **講義「災害時の外国人支援 ～過去から学び、今後に生かす～」**

東日本大震災や熊本地震といった過去の災害における事例を踏まえ、災害時に外国人が直面する課題や、災害情報を多言語化し、外国人に届ける「災害時多言語支援センター」の機能・役割について学びます。

14:00～14:10 休憩

14:10～16:05 **演習「災害時多言語支援センター運営訓練」**

岐阜市では、大規模災害が発生した際、災害時多言語支援センターの設置を予定しています。避難所を巡回して、外国人被災者や避難所運営者に聞き取りをしたり、情報を整理し、必要な情報を外国人被災者に届けるセンターの業務を体験しながら、災害時の外国人支援について考えます。

16:05～16:30 **ふりかえり**



◆多言語支援に関する情報◆

○一般財団法人自治体国際化協会

▼動画「災害時多言語支援啓発動画」

https://www.youtube.com/watch?time_continue=35&v=yd_jek113c4

災害時の外国人支援についての大切さを実感できます。



▼災害時多言語表示シート <http://dis.clair.or.jp/>



避難所で使用頻度の高い言葉を 多言語で表示、
すぐ印刷して使用できます。



○公益財団法人岐阜県国際交流センター



<http://www.gic.or.jp/foreigner/disasterguide/>

災害情報の確認や多言語対応の防災ガイド
をダウンロードできます。



○公益財団法人岐阜市国際交流協会

<http://www.ccn.aitai.ne.jp/~gk3700cc/prevention.html>

岐阜市の災害時多言語支援センターの取組などが見られます。



○岐阜市「災害時に役立つ情報」

<http://www.city.gifu.lg.jp/4067.htm>

岐阜市総合防災安心読本やハザードマップなどにもリンクしています。

